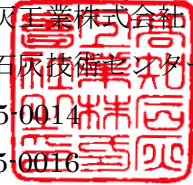


# 安全データシート (SDS)

会社	高知石灰工業株式会社
担当部門	高知県石灰技術センター
TEL	088-865-0014
FAX	088-865-0016
緊急連絡先	同上
改訂	2020年 4月 1日



---

製品名 無臭しっくい スーパーかべクリーン

---

## 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
人健康有害性	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない

	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷	区分1
	眼刺激性	
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露）	区分1（呼吸器系）
	特定標的臓器・全身毒性 （反復ばく露）	区分2（肺）
環境有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚気語：

危険

危険有害性情報：

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

長期又は反復ばく露による肺の障害のおそれ

注意書き：

【安全対策】

適切な保護手袋を着用すること。

適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後は、よく手を洗うこと。

【救急処置】

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は  
外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断  
手当を求めること。  
気分が悪い場合は、医師の手当て、診断を受けること。

**【保管】**

施錠して保管すること。

**【廃棄】**

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の  
廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

物質の特性	化学名	:	水酸化カルシウム
	成分	:	Ca(OH) <sub>2</sub> その他石粉類、繊維類、天然糊
	官報公示整理番号	:	1-181
	国連分類及び国連番号	:	指定なし

---

危険有害成分	:	水酸化カルシウム
--------	---	----------

---

応急措置	目に入った場合	:	きれいな水で洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。
	皮膚に付いた場合	:	きれいな水で十分に洗い流す。
	吸入した場合	:	多量の場合は、直ちに医師の診断を受ける。
	飲み込んだ場合	:	きれいな水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。

---

火災時の措置		:	不燃物
	消火方法	:	周辺の火災時 ① 一般火災の消火方法による。 ② 注水は、飛散防止に配慮する。

---

---

漏出時の措置 : シート等で覆い、飛散拡大の防止を図り容器に回収する。

---

#### 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い : 保護具（防塵メガネ、防塵マスク、ゴム手袋）を着用する。

保 管 : 大気との接触をできるだけ少なくし、防湿に留意する。

---

#### 暴露防止措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 日本産業衛生学会勧告値（1990）；5m g/m<sup>3</sup>  
ACGIH（TLV）（1991）；5m g/m<sup>3</sup>

設備対策 : 換気をよくし、粉塵の飛散を防止する。

保護具・呼吸用 : 防塵マスクを着用する。

保護眼鏡 : 着用する。

保護手袋 : 着用する。

保護衣 : 着用する。

---

#### 物理／化学的性質

外観等 : 白色

分解温度 : 580℃で水を失って酸化カルシウムとなる。1)

比 重 : ー

溶解度 : 水に僅かに溶ける。

---

危険性情報 可燃性・発火性 : 該当データなし

引火点・発火天 : 該当データなし

安定性・反応性 : 空気中に放置すれば、二酸化炭素を吸収して炭酸カルシウムとなる。

---

---

有害性情報	皮膚腐食性	:	炎症を起こすことがある。
	刺激性（眼）	:	眼に入ると、眼を刺激し粘膜を侵す。
	感作性	:	データなし
	急性毒性	:	経口ラット♂LD <sub>50</sub> >6,500m g / k g 2)
			経口ラット♀LD <sub>50</sub> >7,691m g / k g 2)
			経口ラット♂LD <sub>50</sub> >5,494m g / k g 2)
			経口ラット♀LD <sub>50</sub> >5,268m g / k g 2)
			経口ラット LD <sub>50</sub> >7,340m g / k g 3)
			経口ラット LD <sub>50</sub> >7,300m g / k g 3)

国土交通省「建築基準法施行令」の規制対象物質のクロルピリホス及びホルムアルデヒドを発散する可能性のある下記の物質は製品の原料として使用しておりません。

- ・ユリア樹脂                      ・メラミン樹脂                      ・ユリアメラミン樹脂
- ・フェノール樹脂                ・レゾルシノール樹脂              ・ホルムアルデヒド系防腐剤

---

環境影響情報

魚毒性	:	アユ（1g）24H LD <sub>50</sub> 55.0m g / 1 4)
	:	アユ（1g）96H LD <sub>50</sub> 48.8m g / 1 4)
	:	アマゴ（0.7g）24H LD <sub>50</sub> 33.0m g / 1 4)
	:	アマゴ（0.7g）96H LD <sub>50</sub> 34.4m g / 1 4)

---

廃棄上の注意	:	水溶液は強アルカリ性を示すため、中和等の処理が必要である。
--------	---	-------------------------------

---

輸送上の注意	:	粉じんの立たない方法で輸送する。 破袋、破損、荷崩れ等の防止を確実に行う。 水濡れ、湿気に注意する。
--------	---	----------------------------------------------------------

---

---

主な適用法令 : 労働安全衛生法：施行令 別表第9  
名称等を通知すべき有害物  
317 水酸化カルシウム

---

引用文献

- 1) 化学便覧 改訂4版 (平成5年)
  - 2) 石灰 No.443 (1992年11月)
  - 3) ケミカルデータサービス・化学品情報 (1993年1月)
  - 4) 日本石灰工業組合・技術資料・水質-No.1 「石灰による淡水域の環境改善」
-